

令和7年 南砺市議会定例会

令和7年4月会議における  
市長提案理由の説明要旨

令和7年4月4日

## 提案理由の説明

(令和7年4月会議)

### はじめに

令和7年南砺市議会定例会令和7年4月会議にあたり、提案理由の説明に入ります前に、最近の情勢や市政に対する所信の一端を申し述べ、議員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

令和7年度がスタートしました。今年度は第2次南砺市総合計画・南砺まちづくりビジョンの後期5箇年の始まりの年でもあることから、新年度予算の執行に当たっては、これまで進めてきた事業の評価検証を踏まえつつ、着実に成果に繋がるよう、全庁を挙げて努めてまいりたいと考えております。

先月24日には、かねてより取り組んできました南砺市版公共ライドシェアがいよいよ本格運行の運びとなり、福光駅前において出発式を執り行いました。当日は国土交通省の鶴田物流・自動車局長をはじめ、関係の皆様にご臨席いただき、全国にさきがけた本事業のスタートをお祝いいただいたところです。

この取り組みが市民の皆様の生活の足として、また、さまざまな市民活動・経済活動の一助となるよう、より利便性の高いものを目指して引き続きアップデートしていきたいと考えています。

さて、全国では、この2か月足らずの間に各地で山林火災が相次ぎました。2月に岩手県大船渡市で大規模な火災が発生して以後、陸前高田市、岡山県岡山市、愛媛県今治市、宮崎県宮崎市などで次々と発生し、家屋の被災だけでなく、お亡くなりになった方もおられます。被災地の

皆様には心よりお見舞い、お悔やみを申し上げます。

林野庁によれば、3月から4月にかけては例年、山林火災が多い季節であり、原因としては野焼きや焚き火など人的な要因によるものが多くを占めているということです。本市も総面積の約8割を占める広大な森林を有していることから、これらの火災を決して他人事とは思わず、火の取り扱いに十分な注意を払うことが必要であると考えているところです。

それでは、提出いたしました議案につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

## **令和7年度補正予算**

議案第61号は、令和7年度南砺市一般会計補正予算（第1号）を調整し、議会の議決を求めるものです。

今回は、令和6年能登半島地震等に係る災害復旧事業、国の補助内示に係る事業、新規事業及びその他緊急修繕に必要な事業への予算を計上しております。今回計上しました主な事業につきましてご説明いたします。

まず、災害復旧事業につきましては、被災した農地・農業用施設等の災害測量設計業務委託料及び災害復旧工事として、農業用施設等災害復旧費（補助）に1億4,116万9千円を計上しております。

国の補助内示に係る事業では、国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の内示を受け、避難所環境改善事業として3,422万1千円を計上しております。

新規事業では、井波中学校体育館に空調設備を設置するための設計業

務委託料として 1,080 万 2 千円、また、市内で開催されることが決まった京都大学交響楽団の演奏会受入事業として 91 万 4 千円を計上しております。

施設等の緊急修繕に係る事業では、この冬の大雪による破損施設の修繕工事として、五箇山合掌の里合掌家屋屋根修繕工事に 56 万 1 千円、利賀国際キャンプ場のケビン外壁等修繕工事に 429 万円、桜ヶ池クアガーデンの太陽光パネル復旧工事に 861 万 1 千円を計上し、そのほか、3 月に発生した天竺温泉の郷の客室漏水修繕工事として 244 万 2 千円を計上しております。

以上のことから、今回の補正予算総額は 2 億 396 万 7 千円となり、この結果、令和 7 年度一般会計予算の累計額は、372 億 5,396 万 7 千円となります。

これら補正予算の財源は、国・県支出金 1 億 5,677 万 3 千円、市債 840 万円、その他の特定財源 180 万 6 千円を充て、なおも不足する一般財源 3,698 万 8 千円は、財政調整基金を取り崩して対応いたします。

以上、本会議に提出いたしました議案について提案理由を説明いたしました。慎重ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。